

平成 27 年度の活動結果

厚別区防犯ネットワークでは、平成 27 年度に 2 回の会議を開催するとともに、主催事業として厚別区防犯講演会を実施いたしました。

■ 第 8 回厚別区防犯ネットワーク会議（平成 27 年 7 月 17 日）

代表・副代表の選任と、学校ごとの帰宅時刻の違い、各団体で行っている取り組みについて、様々な意見や報告がありました。

- 帰宅時刻に帰らない児童が多いが、学校ごとに帰宅時刻が違い、一つの町内会内でも帰宅時刻が違う学校が存在している事例もあるため、見守る側が声掛けをしたくともどこの学校なのだろうと委縮してしまう。帰宅時刻は統一できないものだろうか。
- 防犯に防災も併せて抱き込んでいく考え方も大切。あまり防犯一本という考え方ではなく、交通安全、青少年育成活動など全体的に関わっていく方法がいい。



■ 第 9 回厚別区防犯ネットワーク会議（平成 27 年 12 月 15 日）

重大事案発生時における土日等の緊急連絡体制や次年度の防犯講演会について意見交換されました。

- 緊急連絡については、警察から電話・FAX・メールを駆使し、区役所と各学校を経由して地域住民と児童・保護者に伝達する他、児童館や体育振興会への伝達も検討する。
- 地域では日中に青パトや防犯の見回りをしているので、土日等の対応の主体は地域である。そのために直接地域や町内会に緊急連絡する体制を決めなければならない。
- 前回の議題であった各小学校の帰宅時刻の違いについて、厚別区では夏場は 17 時 30 分を、冬場は暗くなる前をそれぞれ統一基準として声掛けなどの見守りをしていただければと思う。
- 次回の防犯講演会は、小学校を実施場所として 2～3 校を対象に、保護者や地域住民も参加できる方法で研修会として開催したい。



※下記のとおり、厚別区ホームページにて会議録を掲載しております。

ホーム > 手続き・暮らしの情報 > 防犯・防災・消防 > 安全・安心なまち あつべつ > 防犯に関すること > 厚別区防犯ネットワーク > 過去の防犯ネットワーク会議

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/bosai/kaigiroku.html>

■厚別区防犯講演会（平成 27 年 10 月 28 日）

うさぎママのパトロール教室主宰の武田信彦（たけだ・のぶひこ）氏を講師に迎え、「子どもを守るための地域防犯」をテーマに講演会を実施しました。

最初に武田氏からは、①子どもの安全を守るためには「子どもの力」「地域の力」「大人（保護者）の力」の3つが重要、②防犯活動を継続するには無理をしないことが大事といった話がありました。

その後、参加者は体を動かしながら学ぶ体験型ワークショップを行い、丸めた新聞紙を使って知らない人に触られない安全な距離を確認する方法や、不審者に肩をつかまれた時の対処方法について学びました。



■厚別警察署よりお知らせ

【厚別区内の犯罪状況】

平成 27 年中の刑法犯認知件数は 8 1 2 件（前年比 3 1 1 件減少）。

厚別区内で一番多いのは自転車盗難であり、主に新さっぽろ周辺で発生しています。鍵を3つかけても切られて盗まれる事例もあります。

次に多いのは女性と子どもに対する声掛けと痴漢であり、新さっぽろ周辺で午後8時から午前1時頃に多く、主に一人で帰宅途中の女性が被害に遭っています。

【ほくとくん防犯メールについて】

第 9 回の会議で検討しました重大事案発生時における土日等の緊急連絡については、ほくとくん防犯メールを即日配信することで対応しますので是非ご登録下さい。北海道警察ホームページまたはバーコードリーダー機能付きの携帯電話なら右の「QRコード」を読み取れば登録画面にアクセスできます。



今後の予定（平成 28 年度）

6・7月 第 10 回防犯ネットワーク会議、防犯研修会

11月 第 11 回防犯ネットワーク会議



さっぽろ市
02-Q01-15-2133
27-2-1231

（厚別区防犯ネットワークとは）

防犯関係団体、地域住民及び行政など関係機関との連携と協働により安全で安心なまちづくりを進めることを目的として、あつべつ区民協議会内に設置された組織です。

構成団体 各地区まちづくり会議、厚別区民生委員児童委員協議会、厚別区青少年育成委員会連絡協議会、小学校長会厚別支部、厚別区中学校長会、厚別区PTA連合会、公益社団法人札幌市子ども会育成連合会厚別区支部、北海道札幌方面厚別警察署、北海道コカ・コーラボトリング(株)、札幌市厚別区役所